

科目名 Course Name	ガイドヘルパー講座Ⅲ Course of Study on Mobility Guide III				ナンバリング No.	J4-011	
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	久保 由佳、大熊 信成、吉田 志保						
連絡方法	C-Learning で対応。または福祉棟 2F・3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(ガイドヘルパーユニット必修)						
関連 DP	DP1, DP2						
授業の概要と到達目標	<p>視覚に係る基本的な人体の構造と機能を概観し、視覚障害の原因疾患と症状およびその心理を理解する。そして、見えにくい・見えないことによる日常生活上の障害から生活ニーズを捉える。これらの学びをもとに、同行援護従事者としての基本姿勢や留意点、基本技術を習得する。</p> <p>①同行援護の法的位置づけと従事者としての役割を説明できるようにする。 ②視覚障害に起因する医学的知識から、生活障害および心理状態をむすびつけることができるようにする。 ③同行援護の業務内容を説明できるようにする。 ④視覚障害のある人に対し、適切な同行援護の支援を行うことができるようにする。</p>						
授業の方法	講義、演習、視聴覚教材の視聴、グループワーク等、多様な授業形態をとる。技能演習(誘導歩行の練習)に関しては、教室の他、屋外でも実施する。						
学習成果	L01	視覚障害のある人の心身の状況および日常生活上の不自由さを説明することができる。適切な同行援護サービスを提供することができる。					
	L02	視覚障害のある人と適切に接することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	演習後は振り返りの時間を設け、補足説明を加えながらフィードバックする。						
教科書/参考図書	同行援護従業者養成研修テキスト 中央法規出版 その他、適宜資料を配布する。						
履修上の留意点やルール等	<p>●ガイドヘルパー講座Ⅲのみの履修は認めない。ガイドヘルパー講座Ⅰ、Ⅱも必ず履修すること。●ガイドヘルパー講座Ⅰ～Ⅲの単位を取得し、必要な手続きをすると、「修了証明書」が発行される。●演習時は動きやすい服装にし、アイマスクを持参すること。また、演習に係る一部費用は自己負担となる。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。</p>						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	S 評価は、①使用教材を準備している。②積極的に取り組んでいる。③必要なことをノートにとっている。④演習時は身だしなみを整えている。		20		
レポート/作品	S 評価のレポートは、体験を振り返り、学びや気づきが具体的に記述されていること。援助の視点を含め、自分の考えがまとめられていること。		20		
発表					
小テスト					
試験	同行援護のサービス、視覚障害に関する疾患、同行援護の基礎知識・技術に関する問題を穴埋めや選択、記述形式で出題する。	60			
その他					
合計		60	40		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、演習時の諸注意(30分) 視覚障害者(児)福祉サービス:福祉制度の概要、サービスの内容等(60分) (大熊)
	事前・事後学習	テキストP2～18を読み、障害者福祉制度やサービスを確認する。
2	授業内容	同行援護の制度と従業者の業務①:同行援護の制度と従業者の役割と意義(90分) (大熊)
	事前・事後学習	テキストP19～45を読み、同行援護の制度と同行援護従業者の職業倫理を確認する。
3	授業内容	同行援護の制度と従業者の業務②:同行援護従業者の業務(30分) 障害者(児)の心理:視覚障害のある人の心理的特性と介護者の心得(60分) (大熊)
	事前・事後学習	テキストP46～64、P81～87を読む。同行援護従業者の業務と実務上の留意点を確認する。視覚障害者(児)の心理と心理的援助のあり方を考える。
4	授業内容	障害・疾病の理解①:頻度の高い障害・疾病の医学的知識(90分) (吉田)
	事前・事後学習	テキストP65～71を読み、目の構造や名称、物が見えるしくみをノートに転記する。
5	授業内容	障害・疾病の理解②:日常生活における障害(30分) 情報支援と情報提供①:情報支援の重要性と情報提供の基礎(60分) (吉田)
	事前・事後学習	テキストP72～80、P88・89を読む。視覚障害の原因疾病と症状をノートに分類する。情報支援の重要性を踏まえ、言葉による情報提供の方法を確認する。
6	授業内容	情報支援と情報提供②:情報提供の方法(60分) 代筆・代読の基礎知識①:代筆・代読の方法と留意点(30分) (吉田)
	事前・事後学習	テキストP89～94を読む。情報提供の方法と留意点を確認する。代筆・代読の基本を覚える。
7	授業内容	代筆・代読の基礎知識②:場面別代筆・代読、点字、音訳の基礎(90分) (吉田)
	事前・事後学習	テキストP94～112を読み、代筆・代読、点字、音訳の方法とポイントを確認する。Webサイト等を活用し、情報支援機器について調べる。
8	授業内容	同行援護の基礎知識①:同行援護の目的と機能、基本原則、同行援護の留意点、補装具と日常生活用具(90分) (久保)
	事前・事後学習	テキストP113～125を読み、視覚障害者への接し方と同行援護の留意点を確認する。
9	授業内容	同行援護の基礎知識②:環境と移動に伴う機器、点字ブロック(30分) 基本技能①:基本姿勢、椅子への誘導、誘導歩行(60分) (久保)
	事前・事後学習	テキストP126～130を読み、視覚障害者の歩行環境整備について確認する。 テキストP132～146および配布資料を読み、視覚障害者の誘導方法を確認・練習する。
10	授業内容	基本技能②:基本姿勢、狭い場所の通過、椅子への誘導、誘導歩行(90分) (久保)
	事前・事後学習	テキストP132～146および配布資料を読み、視覚障害者の誘導方法を確認・練習する。
11	授業内容	基本技能③:ドアの通過、立ち位置交換、段差・階段の昇降、誘導歩行(90分) (久保)
	事前・事後学習	テキストP146～148および配布資料を読み、視覚障害者の誘導方法を確認・練習する。
12	授業内容	基本技能④:クロックポジション、食事介助(90分) 【レポート:演習の振り返り、提出は第14回目の授業時】
	事前・事後学習	テキストP168～172および配布資料を読み、食事支援の基本を確認する。クロックポジションを使った説明を練習する。レポート2を作成し、期限までに提出する。
13	授業内容	応用技能①:ファミリーリゼーション、防御姿勢、買い物(90分) (久保)
	事前・事後学習	テキストP175・176および配布資料を読み、視覚障害者の誘導方法を確認・練習する。
14	授業内容	応用技能②:エスカレーター・エレベーターの乗降(90分) (久保)
	事前・事後学習	テキストP155～159および配布資料を読み、視覚障害者の誘導方法を確認・練習する。
15	授業内容	応用技能③:車の乗降、トイレ誘導、通院等その他の対応(90分) (久保)
	事前・事後学習	テキストP159～167、P172～174および配布資料を読む。これまでに学習した移動支援技術を確認する。